

# 令和4年度 学校評価の概要について

令和5年（2023年）5月  
北海道立農業大学校

# 自己評価結果の概要について

## 自己評価の実施方法

1 重点目標の達成に向けて、令和4年度に重点的に取り組んだ取組実績を点検した。

### 【重点目標】

- 職員の指導力・教育力の向上
- 魅力ある教育・研修づくりと情報発信の強化
- 魅力ある教育環境づくり

## 2 実施方法

上記の取組実績について、研修教育活動に携わっている職員を対象に、自己評価アンケート調査を実施し、評価項目ごとに目標を達成しているか、4段階（A～D）で自己評価を行い、併せて、意見や課題について取りまとめを行った。

なお、上記アンケートにおいては、「自分の業務に直接関連していないので判断できない」（E区分）を設けたが、評価結果の集計から除外した。

### 【評価区分】

- A：十分達成できている
- B：おおむね達成できている
- C：どちらかという達成できていない
- D：ほとんど達成できていない
- E：自分の業務に直接関連していないので判断できない

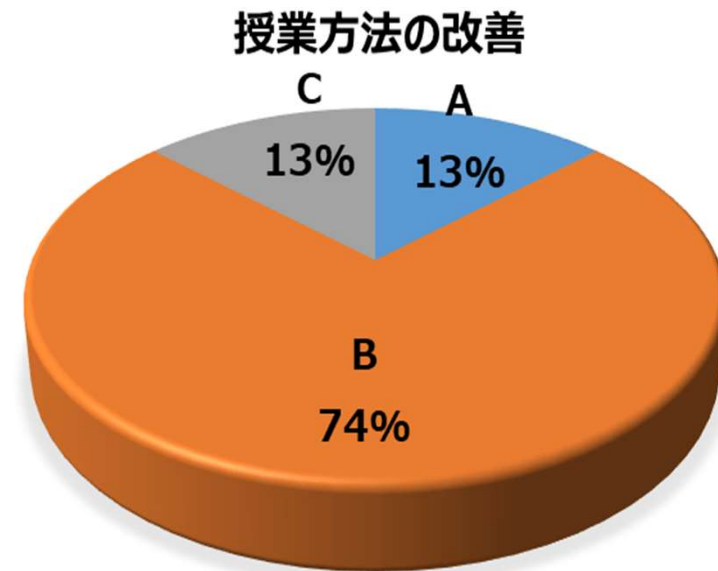
### 【回答状況】

調査対象職員：26名 回答者数：26名（回答率：100%）

## 自己評価（職員評価）の結果（職員の指導力・教育力の向上①）

### 授業方法の改善

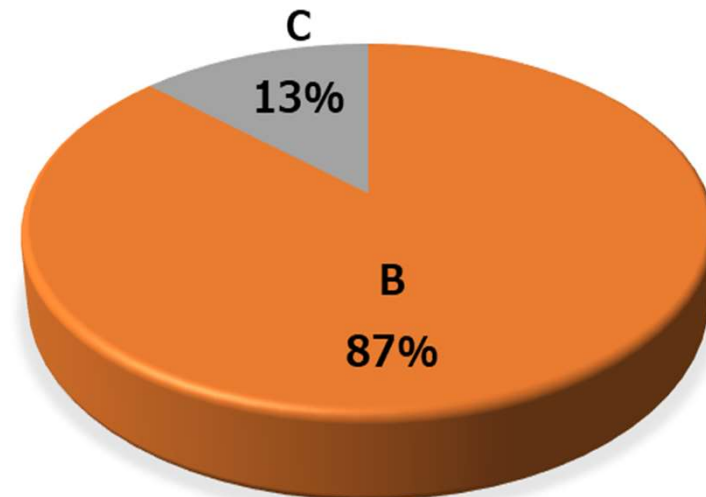
肯定的評価（A、B）は20人で87%、否定的評価（C）は3人で13%であり、肯定的評価（おおむね達成できている）が大部分を占めている。



### 基礎学力不足の学生対応・生活指導

肯定的評価（B）は20人で87%、否定的評価（C）は3人で13%であり、肯定的評価（おおむね達成できている）が大部分を占めている。

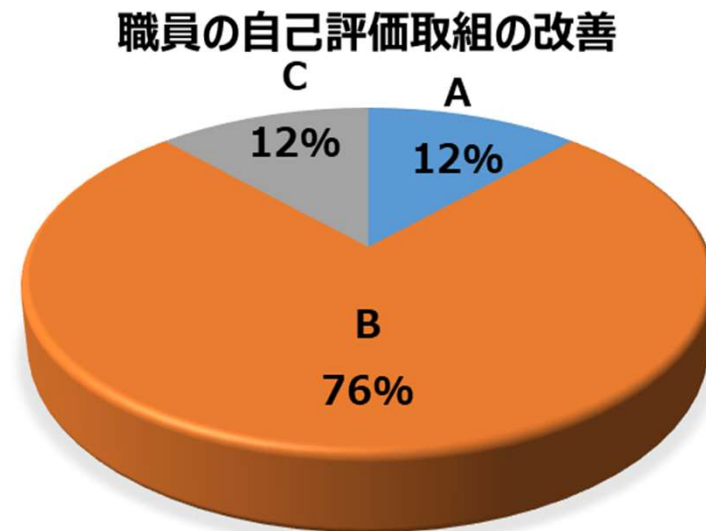
### 基礎学力不足の学生対応・生活指導



## 自己評価（職員評価）の結果（職員の指導力・教育力の向上②）

### 職員の自己評価取組の改善

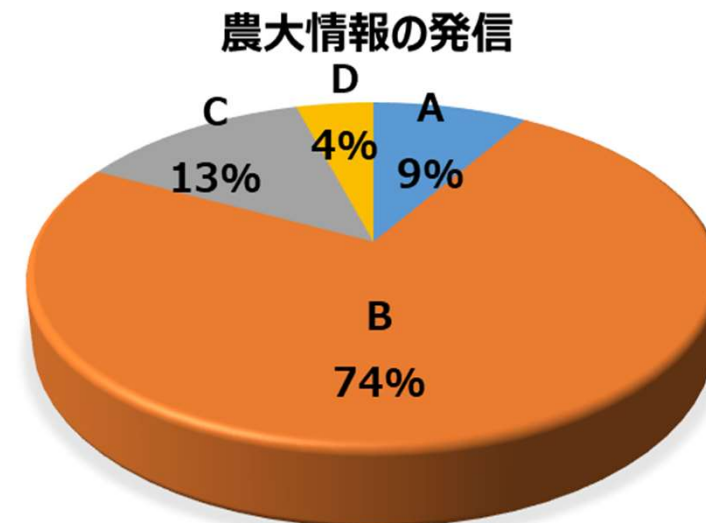
肯定的評価（A、B）は22人で88%、否定的評価（C）は3人で12%であり、肯定的評価が大部分を占めている



## 自己評価（職員評価）の結果（魅力ある教育・研修づくりと情報発信の強化①）

### 教育・研修内容の充実

肯定的評価（A、B）は19人で83%、否定的評価（C、D）は4人で17%であり、肯定的評価が大部分を占めているものの、ほとんど達成できていない（D）評価もあり、今後改善していく余地がある。



## 自己評価（職員評価）の結果（魅力ある教育・研修づくりと情報発信の強化②）

### 農大情報の発信

肯定的評価（A、B）は19人で83%、否定的評価（C、D）は4人で17%であり、肯定的評価が大部分を占めているものの、ほとんど達成できていない（D）評価もあり、今後改善していく余地がある。

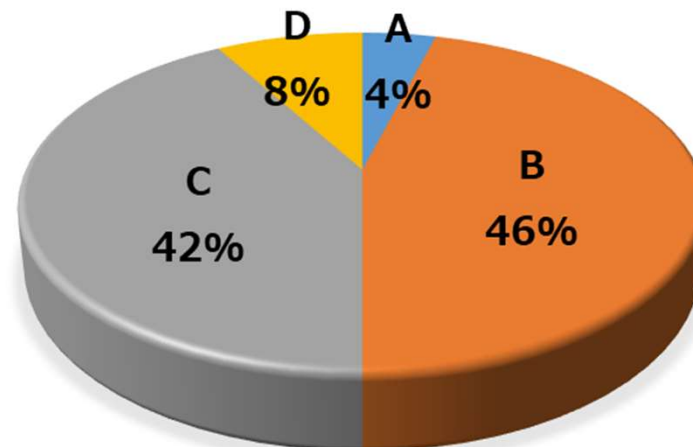


## 自己評価（職員評価）の結果（魅力ある教育環境づくり）

### 教育・実習施設等の計画的な整備の推進

肯定的評価（A、B）、否定的評価（C、D）共に12人で50%と同率となっている。ほとんど達成できていない（D）評価も一定数あり、今後改善していく余地がある。

### 教育・実習施設等の計画的な整備の推進



# 外部評価結果の概要について

# 外部評価の実施方法

1 重点目標の達成に向けて、令和4年度に重点的に取り組んだ取組実績を踏まえて、評価項目ごとに目標を達成しているか外部評価委員の評価を受けた。

## 【重点目標】

- 職員の指導力・教育力の向上
- 魅力ある教育・研修づくりと情報発信の強化
- 魅力ある教育環境づくり

## 【外部評価委員】

北海道立農業大学校同窓会、父母の会、教育関係者、農業関係者、行政機関から選定した5名

## 2 実施方法

上記の取組実績について、外部評価委員会（令和5年3月22日開催）に諮り、評価項目ごとに目標を達成しているか、4段階（A～D）で評価いただくとともに、学校評価の実施方法や学校運営に関する意見や課題について取りまとめを行った。

## 【評価区分】

- A：十分達成できている
- B：おおむね達成できている
- C：どちらかという達成できていない
- D：ほとんど達成できていない
- E：判断できない

## 【回答状況】

外部評価委員：5名 回答者数：5名（回答率：100%）



# 外部評価委員による評価の結果

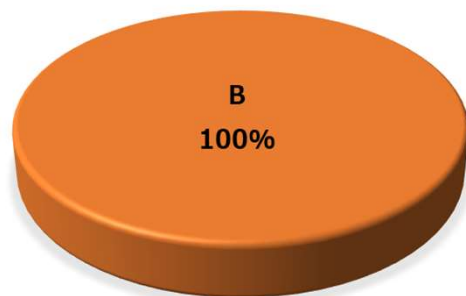
## 評価の方法

令和4年度に設定した重点目標に対する取組実績について、評価項目ごとに目標を達成しているか、外部評価委員による評価を受けた。【評価区分】A：十分達成できている B：おおむね達成できている C：どちらかという達成できていない D：ほとんど達成できていない

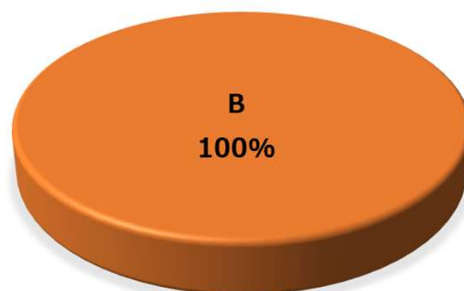
## 評価結果の概要

概ね肯定的評価（A、B）であるが、評価項目のうち、「授業方法の改善」、「基礎学力不足の学生対応・生活指導」、「教育・研修内容の充実」は、全てがB評価である。また、「職員の自己評価取組の改善」、「農大情報の発信」、「教育・実習施設等の計画的な整備の推進」は、A評価とB評価で80%を占めるものの、C評価もあり、改善の余地があるものと考えられる。

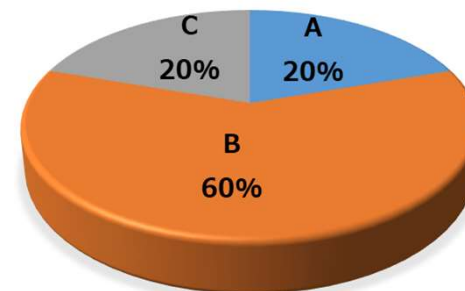
授業方法の改善



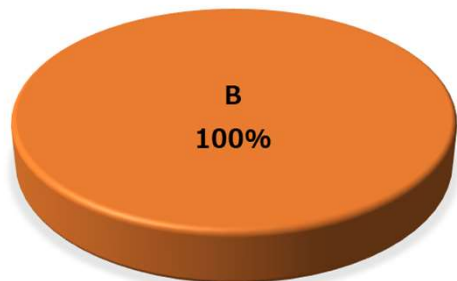
基礎学力不足の学生対応・生活指導



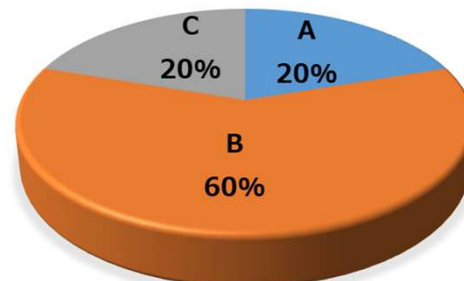
職員の自己評価取組の改善



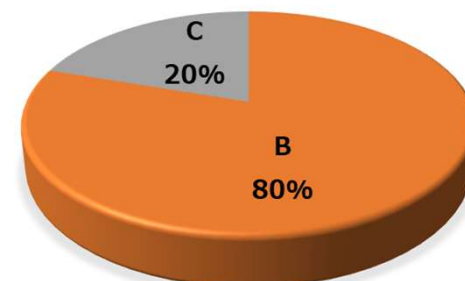
教育・研修内容の充実



農大情報の発信



教育・実習施設等の計画的な整備の推進



## 外部評価委員による評価の結果②

### 意見・提案等

#### 【授業の進め方について】

- 農業の技術革新に対応した指導者育成を進めると良い。
- 授業の中でコミュニケーションを取り、学習意欲や集中力を高める工夫をすると良い。

#### 【学生への指導について】

- 学力向上を図る上では「やる気」を引き出していくことも重要。
- 学生に「気づき」を感じさせる生活指導が効果的。

#### 【自己評価結果について】

- 指導者によって教育の差が生じないように、伝える技術を磨くことが重要。
- 限られた条件の中で努力されていると思う。

#### 【教育・研修の内容について】

- 授業などで使われているデータや施設機械が古いことや、外部講師の選定について、学生の評価が低いことは課題。

#### 【情報発信について】

- SNSの利用を増やしていくと良い。
- 学校だけでなく、学生がSNS等で情報発信しても良いのではないか。
- 地元での農大の話題が少ない、卒業生などがPRしていくことも重要。

#### 【学校施設について】

- 今後は、授業や学校生活でのICTの活用機会が増える、そのためのネットワーク環境は不可欠。
- 学生寮などの和式トイレに対する学生の不満を早期に解決するべき。
- 寮生活の環境向上が入学希望者の増加に繋がると思う。

#### 【その他】

- 様々な課題があるが、引き続き「優れた農業者の養成」を続けてほしい。
- 農福連携など、農業を通じた社会貢献にも目を向けてほしい。